

「共同参画 新たな社会の パスワード」

平成21年度男女共同参画週間標語

例えば、女性だけの集まりに男性が1人交じったら、多分その男性は居心地が悪いのではないのでしょうか。男性にそう思わせないような女性たちの配慮が必要だと思います。そういった配慮を職場では感じます。「一人前の女性消防士」となるよう育ててくれているように思います。ありがたく思います。

消防学校での研修中には「男に負けられない」という気持ちが強くありました。今はどちらかというと自然体で、バランスをとることを心がけています。腕力・体力など、女性が男性に敵わないことは現実です。それでも何度か現場に出動してみても、女性が必要と思われる場面もあります。女性の患者さんは、女性の救命士がいると安心するように思います。患者さんご家族から感謝され、応援されることもあります。男女の性別に関係なく、まだ現在の自分は消防士、救命士として経験不足で、救急出動の際には気持ち焦ってしまいます。

「それぞれの役割に合った人が、それぞれの役割を担うべき」という考えがあるとしても、これまで男性だけが担ってきた役に、一部分でも、女性が求められるようになってきているように感じます。その逆もまたあるように思います。

私は女性消防士の先駆けとしての役割を、全うしたいと思っています。



女性消防士として
秋田県で先駆けとなる
佐佐部真樹さん

男女共同参画社会へ向かう 新たなステージ

「男女共同参画社会基本法制定10周年」

佐佐部真樹さん（横根）

平成20年、秋田県内で初めて採用された女性消防士5人の内の1人。半年間の消防学校研修、にかほ市消防署警防係を経て、現在救急隊で救急救命士として活躍中です。（救急救命士は救急現場から病院へと搬送する際、心肺停止状態など、生命の危機を回避する救命処置を行う資格をもつ者）

24時間の勤務をしています。やりがいを持って勤務しています。先輩・上司からも「女性だから」と手加減をされることなく、鍛えられています。休日には仁賀保勤労青少年ホームのトレーニング室に通い、体力アップを図っています。

同時に採用になった5人で「秋田県で初めての女性消防士の私たちが先駆けになろう」と話し合ったことがあります。この先、結婚、出産、育児、さらには家族の介護など、仕事との両立が困難な時がきても、消防の仕事をやりたい。覚悟ができたような気がしています。

この職業を選んだときに、ある覚悟をしています。市民の生命と財産を守るため、ときには自身に危険が及ぶ職務。その責任を負う覚悟はもちろん、男性だけの職場の中に、自分だけが一人女性として、男性と同じように働くこと、同じ役割を担うことへの覚悟です。そういう覚悟を持って、現在の職場に入ってきました。私を採用した側、受け入れる男性側も同じように、女性を受け入れる覚悟をしたんだと感じました。

高校生の時、ソフトボールの大会で骨折。救急搬送されたことが、消防に入るきっかけでした。救命士をとっても頼もしく感じたことを覚えています。高校卒業後、救命士の資格をとるため3年間専門学校へ通いました。3年時に採用試験を受験したのですが、当時、秋田県では女性消防士がいなくて、受験しても採用されるのか半信半疑でした。研修を受ける消防学校の施設も、以前は男性用トイレだけだったりと、女性を受け入れる環境整備が遅れていたそうです。

家族に消防職への希望を伝えたときは、驚いていましたが、私のやりたいことと受け入れ、応援してくれました。現在は2交代制で

男女共同参画に関する Q&A

Q なぜ男女共同参画社会が必要なのか？このままで大丈夫か、日本社会

少子高齢化の進展により社会の担い手が減少し、若い人が少なくなると、経済・産業の活力が衰えるおそれがあります。社会の担い手についての女性の活用は、男女共同参画の趣旨に沿うばかりでなく、新たな可能性や活力につながります。

Q 女性の社会進出が進むと、出生率がますます下がるのでは？

出生率と女性の労働力率の関係は変化してきました。近年では、女性の労働力率の高い都道府県の方が出生率が高い傾向がみられます。出生率と女性の労働力率に関する社会環境（施策、制度、意識等）を見ると、長時間労働の是正など、男性を含めた働き方の見直しや、地域における子育て支援体制の構築などが、子育て女性の就労双方にプラスの影響を及ぼす可能性が示されています。

※誤解されやすいですが

男女共同参画は「女性だけ優遇する」・「男女をすべて画一的に扱う」・「専業主婦を排除する」ことではありません。

にかほ市の平成21年度 男女共同参画事業

I 男女共同参画押し掛け対話劇キャラバン隊の派遣

対話劇とは、登場人物の会話だけで進んでいく劇で、会話のなかに伝えたいメッセージを含めたものです。男女共同参画について考える「きっかけづくり」とするため、各団体の行事等にお邪魔して（押し掛け）対話劇を上演しています。時間は20分程度、料金は無料です。ので、お気軽に問い合わせください。



II 男女共同参画講演会の開催

昨年は象潟中学校を会場に、中山恭子前男女共同参画担当大臣を講師として開催しましたが、ことしも10月に仁賀保町勤労青少年ホームを会場として開催する予定です。詳細等については、後日、広報紙等によりお知らせします。

問合せ先

総務部企画情報課 43・7510